



CADTOOL フローティングライセンス版

FEM6/メカニカル7/フレーム構造解析9共通

マルチパッケージサーバー インストールマニュアル

INSTALL MANUAL



キャデナス・ウェブ・ツー・キャド株式会社

第1章 CADTOOLマルチパッケージサーバーの導入

1. インストーラの起動

起動している他のアプリケーションがあれ ばすべて終了し、CADTOOL マルチパッケ ージCDをドライブに挿入します。マルチパ ッケージのインストール用メニューが自動 実行されます。CDが自動実行されない場合 には直接実行を行って下さい。

メニューより[マルチパッケージサーバー]を クリックするとライセンスサーバーのイン ストールが開始されます。



直接実行する場合は、

[スタートメニュー] → [ファイル名を指定して実行] をクリックします。 [ファイル名を指定して実行] のウインドウが表示されます。 [名前欄] に以下のように入力し、「OK] をクリックします。

E:multi_ist.exe (CD-ROMのドライブがEドライブの場合)

またインストーラを直接実行する場合には、 マイコンピュータよりCD-ROMの入ったド ライブを右クリックし、「開く」を選択し CD-ROMを直接開きます。開いたウィンドウ より「server」フォルダを開き、フォルダ内 のsetup.exeを実行します。

直接実行する場合は、以下を指定します。 E:server¥setup.exe (CD-ROMのドライブ がEドライブの場合)

♣ frame9_fls (E:)				
ファイル(E) 編集(E)	表示⊙	お気に入り(<u>A</u>)	ツール① 	-
③ 戻る • 🕥 •	1)検索 🎼 フォ	รมรั 📴 🎯	»
アドレス(D) 🥝 E¥			✓ →	移動
名前 🔺	サイズ	種類	更新日時	
🚞 monitor		ファイル フォルダ	2010/02/23 17:50	
erver		ファイル フォルダ	2010/02/23 17:50	
强 AUTORUNINF	1 KB	セットアップ情報	1999/07/16 13:53	
🚟 CD-RUN	1 KB	MS-DOS プロ	2000/10/31 17:01	
CD-RUN.BAT	1 KB	MS-DOS バッ	2010/02/23 15:16	
🔷 multi_ist.exe	395 KB	アプリケーション	2010/02/23 15:13	

Windows NT4.0 または、Windows 2000 、Windows XP、Windows Vista、Windows 7 で CADTOOLをインストールする時は、必ず Administrator 権限でインストールを行ってくだ さい。

2. セットアップの開始

セットアッププログラムが起動すると初期化ファイルのコピーを行った後、ソフトウェア使 用許諾契約書の画面が表示されます。

📕 C AD	TOOLマルチパック	ワージサーバー セットア・	7 *		×
以下同意	の使用許諾契約書	使用許諾契約: を読んで下さい。インス す。	書の 同意 トールを続行するには、	二の使用許諾契約書に	
本下の本す場客客場が	契約は、お客様(以「 シADENASとします) です。 マオンマンス なか、またしま、本ソフ 会、特に以下の制限 制は、本契約が自ら 第は、本契約が自ら 第ま、本ソフトウェアを 合うなどその者のため	Fお客様とします)とキャ との間での本・ノフトウェ アログに表示される「便 トウェアの全部または- を含む本契約のすべて 署名した他の契約書を店 取得したすべての送人 めに本・ノフトウェアが使り	デナス・ウェブ・ツー・キ アの使用権の許認に関 部をコピー、インストー の条件を受話したもの。 可様であることを了犯し、 および例えばお客様の およびい例えばお客様の 利者れているすべての治	キャド株式会社(以 する条件を定めるも で回覧する)を選択 -リまたは使用した とみなされます。お うなされます。お り使用者(存在する も人に対して強制力	
がお	かります。 客様は、本契約の全 ボリューム・ライセ:	部または一部を補足し、 ンス契約)を直接CADEN	またはこれに代替する NASと締結している場合	別個の契約書(例え があります。 マ	J
	○ 同意しない	● 同意する	次へ	中止	

CADTOOLマルチパッケージサーバーをインストールして使用するにはこの使用許諾契約書 に同意する必要があります。スクロールして全ての文書に目を通して同意できる場合は オ プションボタンの[同意する]をクリックすると[次へ]のボタンが押せるようになります ので次に進みます。

同意できない場合は[中止]ボタンをクリックして下さい。中止すると初期化ファイルが 削除されセットアップは中止されます。

続いて [CADTOOLマルチパッケージサーバー] セットアップ開始画面が表示されます。 ここでも終了すると初期化ファイルが削除されセットアップは中止されます。

£	BCADTOOLマルチパッケージサーバー セットアッフ*
	CADTOOLマルチパッケージサーバーのセットアップを始めます。 セットアップ プログラムでは、システムファイルや共有ファイルが使用中のとき、その ファイルの追加や更新はできません。起動している他のアフリケーションを終了す ることをお勧めします。
	●K了公

[OK] ボタンをクリックすると次の画面が表示されます。

🚽 CADTOOLマルチパッケージサーバー セットアッフ*			
セットアップを開始するにコお次のホタンを外ックしてください。			
このホタンをかりっかすると CADTOOLマルチパッ アフリケーションが指定されたディルクトリにセットアップ	ッケージサーバー されます。		
ディレクトソニー C:¥Program Files¥CADTOOL_Series¥Multi2Server¥ ディルクリ変更©			
終了公			

ここで左上の大きなボタンをクリックするとインストールが開始されます。インストール先 のディレクトリを変更したい場合は [ディレクトリ変更] ボタンをクリックして変更することが でき、変更したディレクトリがない場合は新規にディレクトリが作成されます。ただし ア ンインストールする可能性があれば専用のディレクトリにインストールするようにしてくだ さい。

またルートディレクトリにはインストールしないで必ずサブディレクトリにインストールして下さい。通常はこのままでかまいません。

次にプログラムグループを選択する画面が表示されます。

🛃 CADTOOLマルチパッケージサーバー - ブログラム グル 🔀
セットアッフ1は 「フロケラム ケルーフ" ボックスに表示されたケルーフ1に項目を 追加します。新し、ウルーフ"名を入力することも、既存のウルーフ リストから選択することもできます。
プロがラム グル~フ <i>゚(<u>P</u>): <mark>CADTOOLシリーズ</mark></i>
既存のクウルーフ°⊗:
CADTOOLシリーズ Microsoft Web 発行 アクセザリ スタートアップ 管理ツール
推続(C) キャンセル

標準の設定では[CADTOOL シリーズ]というプログラムグループが作られそこに [マ ルチパッケージサーバー]が追加されるようになっています。ここで [継続] ボタンをクリ ックするとプログラムのインストールが開始されます。

セットアップが完了すると [スタートメニュー] > [プログラム] に [CADTOOLシリーズ] グループが追加され、その中に [マルチパッケージサーバー] ができ標準の設定ではここか ら起動するようになります。

コンピュータ起動時に自動でライセンスサーバーを起 動したい場合はプログラムグループの選択で右に示す ように [スタートアップ]を選択するとスタートアッ プの中に [マルチパッケージサーバー] ができ コン ピュータ起動時に自動で起動するようにできます。

プログラム グループ(<u>P</u>):
スタートアップ
既存のヴル−プ≌
CADTOOLシリーズ Microsoft Web 発行 アクセサリ
スタートアップ 管理ツール

スタートアップには後からマニュアルで追加すること

も可能で、またショートカットを デスクトップに作っておきそこから起動するような使 い方もできます。使用頻度や運用方法等により使いやすい方法を選択して下さい。なおスタ ートアップに追加する場合やショートカットの作成についてはWindowsのマニュアルを参 照して下さい。

3. アンインストールする場合

[CADTOOLマルチパッケージサーバー] が起動している場合は終了します。

[スタートメニュー] > [コントロールパネル] をクリックします。[コントロールパネル] のウインドウが表示されますので[アプリケーションの追加と削除]のアイコンをクリック して次のウインドウを表示します。

🐻 プログラムの道	imと削除 📃 🗖 🔀
プログラムの 変更と削除(H)	現在インストールされているプログラム。 ロ 更新プログラムの表示(D) 並べ替え(D): 名前 マ んの 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
RECEIPTING	このプログラムを変更したり、コンピュータから新聞にたりするには、(変更と新聞)をクリックしてください。 変更と和除 このプログラムを変更したり、コンピュータから新聞にたりするには、(変更と新聞)をクリックしてください。 変更と和除

一覧から [CADTOOLマルチパッケージサーバー] を選択して [変更と削除] ボタンをクリ ックするとアンインストールできます。

4. アンインストール後の処理

アップデート等を実行するとアンインストールしてもインストールしたディレクトリや そ のディレクトリにファイルが残ることがあります。

またOSに関係なくユーザーフォルダの下に作業フォルダを作って終了時のダイアログの位 置を保存した起動時デフォルトデータや後で説明するログファイルが作られることがありま す。標準では下記のパスが作業フォルダになります。

$\label{eq:c:stocal} C: \ensuremath{\texttt{VDocument}}\xspace and \ensuremath{\texttt{Settings}}\xspace \ensuremath{\texttt{Settings}}\xspace$

ここで****の部分はログオンユーザー名になりますのでユーザー毎に変わってきます。 インストールしたディレクトリと作業フォルダに他のアプリケーションや必要なデータ ファイルが入っていない場合はアンインストール後にインストールディレクトリと作業 フォルダを削除してください。

第2章 ライセンスサーバーの起動

1. シリアル番号・Aコード(オーソライゼーションコード)入力

インストール直後に [スタートメニュー] > [すべてのプログラム] > [CADTOOLシリー ズ] (プログラムグループにスタートアップを選択した場合は [スタートアップ]) > [マルチパッケージサーバー] をクリックして [CADTOOLマルチパッケージサーバー] を 起動すると次に示すAコード入力ダイアログが表示されます。また [スタートアップ] に 登録した場合はコンピュータを再起動しても表示されます。

Aコード入力	
CADTOOLマルチサーバーな シリアル番号とAコードの入ナ	を使用するには コが必要です。
シリアル番号	
A⊐F	
OK	終了

ここでユーザー登録用紙に記載されているCADTOOLマルチパッケージサーバーのシリアル 番号とAコードを入力します。

ここで [OK] ボタンをクリックするとそれらが適正なものであればAコードが登録され、 続いてサーバーライセンス入力ダイアログが表示されます。不適正なものを入力した場合は メッセージが表示されますので再度入力してください。

シリアル番号とAコードが登録されると次回起動時からこのAコード入力ウインドウは表示されません。

Windows NT4.0 または、Windows 2000 、Windows XP、Windows Vista、Windows 7 で シリアル番号、Aコードを登録する場合は、必ず Administrator 権限で行ってください。

2. サーバーライセンス入力

Aコード入力が完了すると次に示す[サーバーライセンス入力]ダイアログが表示されます。 以下にこのダイアログの操作を説明します。

サーバーライセンス入力			
①ライセンス認証に使うホストID ホストID: [**:**:**:**	を選択する #:** ▼		
②申請するライセンス数を入力す	する		
FEMライセンス数	フレーム構造解析ライセンス数一		
Ver6	Ver8 Ver9		
	2D: (************************************		
- メカニカルライセンス数-	3D: *		
Ver7 *	動解析: * *		
③下のリクエストコードを申請してライセンスコードを発行してもらう			
リクエストコード ****	****		
④発行されたライセンスコードを入力して認証ボタンをクリックする			
ライセンスコード 「			

①ライセンス認証に使うホストIDを選択します。ネットワークアダプタが1つの場合は ホストIDも1つしかありませんが複数のネットワークアダプタがある場合はリストボック スからライセンス認証に使うホストIDを選択して下さい。ここで選択したホストIDをユ ーザー登録用紙のホストID記入欄に記入して下さい。

②申請するライセンス数を入力します。ここにはユーザー登録用紙に記載されているFEM、 メカニカル、フレーム構造解析の2D、3D、動解析のそれぞれの[許諾ライセンス数]を 入力して下さい。

③リクエストコード表示欄に表示されているライセンスコードをユーザー登録用紙のリクエ ストコード記入欄に記入してください。

その他ユーザー登録用紙に必要事項を記入して下記にFAXして下さい。

キャデナス・ウェブ・ツー・キャド(株)ユーザー登録係 FAX 03-5961-5032

ライセンスコードが発行されるまで [一旦終了] ボタンをクリックしてプログラムを終了します。

④ライセンスコードが発行されたら再度[CADTOOLマルチパッケージサーバー]を起動す ると上記のダイアログが開きますので発行されたライセンスコードを入力して[認証]ボタ ンをクリックします。

ライセンスコードが認証されると右に示すよ うにタスクトレイに[CADTOOLマルチパッケ ージサーバー]のアイコンが表示されます。



このアイコンを右クリックするとポップアップメニュー が表示され、ここからライセンスサーバーの管理画面の表 示やプログラムの終了を行います。



なおリクエストコード表示欄の右にあるボタンでリクエストコードをクリップボードに コ ピーすることができ、ライセンスコード入力欄の右にあるボタンでクリップボードから ラ イセンスコードを貼り付けることができます。通常は使いませんがメールでのやり取りが必 要になった場合に利用すると便利です。

またダイアログ右上にある [認証情報削除] ボタンをクリックすると登録したシリアル番号 とAコードの情報が削除され1のAコード入力からやり直すことができます。

3. ライセンスサーバーの管理画面について

タスクバーのアイコンを右クリックしてポップアップメニューから[表示]をクリックする と次に示すライセンスサーバーの管理画面が表示されます。

🚆 CADTOOL マルチパッケージ ライセンスサーバー	X X
FEM Ver6ライセンス数: 1 起動数: 0/1 起動コンピュータ名(ユーザー名)	フレーム構造解析 2D 3D 動解析 Ver8ライセンス数: 1 1 1 起動数: 0/3 0/2 0/1 Ver9ライセンス数: 1 1 1 起動数: 0/3 0/2 0/1 2D 起動力ンビュータ名(ユーザー名) 20 20
- メカニカル Ver7ライセンス数: 1 起動数: 0/1 起動コンピュータ名(ユーザー名)	3D 起動コンビュータ名(ユーザー名)
サーバー情報(クライアントに設定する) ホスト名 HOSTNAME IPアドレス ****、***、****	動解析 起動コンビュータ名(ユーザー名)
ボート番号 59900 ホート番号 59900 ホート番号 59900	

ここには各パッケージの許諾ライセンス数が表示されます。起動数の欄は"/"の右側の数 字が最大起動台数となり、左側の数字が実際に起動している台数となります。

フレーム構造解析では2Dのコマンドの最大起動台数は2Dと3Dと動解析のライセンス数 の合計となり、3Dのコマンドの最大起動数は3Dと動解析のライセンス数の合計となりま す。

上の例のようにフレーム構造解析で2D、3D、動解析のライセンス数が各1の場合は2D のコマンドは最大3台のコンピュータで実行でき、3Dのコマンドは最大2台のコンピュー タで実行できることになります。なお2Dのコマンドの範囲はフレーム構造解析8-2Dの マニュアルを参照して下さい。

またそれぞれの表示欄には起動中のコンピュータ名とユーザー名が表示されるようになって います。なおフレーム構造解析の場合はバージョンに応じてコンピュータ名の前に"V8" か"V9"が付いて表示されます。 サーバー情報欄にはクライアントに設定する項目が表示されますので、後で説明するように これらを各クライアントで設定します。各表示欄右にあるボタンはクリップコピーボタンで それぞれの表示内容をクリックボードにコピーします。また右下の[ALL]ボタンでは ホスト名、IPアドレス、ポート番号をまとめてクリックボードにコピーできますので必要 に応じてクライアントの設定に利用して下さい。

ポート番号はデフォルト値が表示されていますがクライアントが起動していなければ変更が 可能です。ポート番号を変更したい場合は直接ポート番号表示欄でポート番号を修正してか ら[ポート番号変更] ボタンをクリックします。続いて次に示す確認メッセージが表示され ますのでここで [OK] ボタンをクリックするとポート番号が変更できます。



クライアントが1度でも起動した後は入力欄およびボタンがグレーアウトしてポート番号の 変更はできなくなります。再度変更したい場合はクライアントをすべて終了し、ライセンス サーバーを一旦終了してから再起動すると変更できるようになります。コンピュータの 再 起動は必要ありません。

なお各クライアントのサーバー情報を設定した後にライセンスサーバーのポート番号を 変 更すると各クライアントも全て同じポート番号に変更する必要がでてきますのでどうしても 変更が必要になったときのみ変更するようにしてください。

[バージョン情報/アップデート設定]ボタンをクリックすると次に示すウインドウが表示 され、CADTOOLのバージョンやシリアル番号、ライセンス数を確認することができます。

サポートを受ける場合は製品のバージョンやシリアル番号をお伝えいただいた方がスムーズ に対応できるので、ここでバージョン情報を確認してご連絡下さい。

バージョン情報/アップデート設定
CADENAS WEB2CAD CADTOOL
マルチサーバー バージョン 2.0.0
シリアル番号 *******
FEM6 ライセンス数=1
メカ7 ライセンス数=1
フレーム8-2D ライセンス数= 1
フレーム8-3D ライセンス数= 1
フレーム8-動解析ライセンス数= 1
フレーム9-2D ライセンス数= 1
フレーム9-3D ライセンス数= 1
フレーム9ー動解析ライセンス数= 1
「手動アッフ℃デート 」 サポート情報
認証情報削除 情報出力設定

[手動アップデート]ボタンをクリックするとライブアップデートウインドウが表示され ライブアップデートを行うことができます。ライブアップデートを実行するとライセンス サーバーは自動で終了します。起動しているクライアントがいないかどうか確認してから 実行して下さい。

[認証情報削除]ボタンをクリックすると登録されているシリアル番号とAコード、ライセンス数やライセンスコードの情報が削除され、次回起動時に1で説明したAコード入力ダイアログが表示されるようになります。ライセンスを変更したときはこのボタンで認証情報を 削除してから再登録してください。

[サポート情報]ボタンをクリックすると発売元のキャデナス・ウェブ・ツー・キャド株式 会社のホームページやCADTOOL/ISOTOOLの製品紹介ページのURLなどが確認できるダイアログが開き、インターネットに接続されている環境ではそこから各ページを開くことができます。

また弊社サポートのメールアドレスも表示され、それをクリックするとメーラーが起動して 弊社サポートへメールを送ることもできます。

[戻る] ボタンをクリックするとこのダイアログを閉じます。

[情報出力設定]ボタンをクリックすると後で説明するサーバー起動ログを出力したり、クライ アントからサーバーの管理情報をモニターするための情報を出力する起動情報出力設定ダイ アログが表示されます。この機能については次で説明します。

ライセンスサーバーの管理画面を閉じる場合は右上の×ボタンか[タスクトレイに入れる] ボタンをクリックします。いずれの場合もプログラムが終了するわけではありません。プロ グラムの終了はタスクトレイのアイコンを右クリックして[プログラムの終了]をクリック しますがWindows をシャットダウンしても自動的に終了します。

4. 起動情報出力設定について

マルチパッケージサーバーではサーバーの起動時間およびサーバー起動中のクライアントの 使用状況、サーバーの終了時間をログファイルとして出力することができます。またサーバ ーの管理情報をモニター情報としてファイル出力しておきクライアントからサーバーの管理 情報をファイル参照してモニターすることもできるようになっています。

このログやモニター情報を出力する場合は [バージョン情報/アップデート設定] ボタンを クリックして[情報出力設定]ボタンをクリックして起動情報出力設定ダイアログを表示させ ます。

起動情報出力設定				
ーサーバー起動ログ出力設定 フォルダバス(出力しない場合は削除して空欄にしておいてください)				
」 連続記動中は右の期間経過 するとログファイルを更新する 1日 ・ デフォルト 削除 参照	キャンセル			
- モニター情報出力設定(モニター情報をネットワーク経由で取得する場合は設定不要) フォルダバス(出力しない場合は削除して空欄にしておいてください)				

ここで上段がサーバー起動ログ出力設定で下段がモニター情報出力設定となります。クライ アントのモニター機能の使用方法については後で説明しますがネットワーク経由でモニター 情報を取得する場合はここのモニター情報出力設定は不要ですので空欄にしておきます。

いずれもフォルダパスの入力欄にパスを入力するとそのパスにログやモニター情報を出力し ますので出力したい場合はサーバーから書き込み可能なパスを設定します。また[参照]ボ タンをクリックするとフォルダの参照ダイアログが表示されますのでそこから選択すること もできます。 モニター情報をファイル参照で取得する場合はそのフォルダパスがクライアントから読み込 み可能なパスになっている必要がありますので適切なアクセス権を設定した共有フォルダを 先に作ってそれを選択してください。

[削除] ボタンをクリックするとフォルダパスの入力欄が空欄となります。出力しない場合 はフォルダパスの入力欄を空欄にしておいてください。

サーバー起動ログ出力設定の[デフォルト]ボタンをクリックすると前章の4.アンインス トール後の処理で説明した作業フォルダがフォルダパスに入力されます。

ログはサーバーの起動時にヘッダー+起動時の時間で構成したファイルに出力していきます。 例えば次のログファイルは2010年1月23日07時48分56秒にサーバーを起動した ときのファイル名となります。

MULTI2_SERVER_100123074856.LOG

ログファイルはサーバーが終了するまで同じファイル名に記入していきますので連続起動し ている場合はファイルサイズが大きくなったり、管理しにくくなることが考えられますので [デフォルト] ボタンの左にあるリストボックスでログファイルの更新期間を設定すること ができるようになっています。

ここで [更新しない]を選択した場合はサーバ ーの起動から終了までが1ファイルとなり、期 間を選択した場合はその期間が経過するとロ グファイルが更新されるようになります。



ログの管理方法等を検討して更新期間を選択して下さい。なおログファイルの自動削除機能 はありませんので必要に応じて管理者が削除してください。

またログファイルが必要ない場合は前述の起動情報出力設定ダイアログのサーバー起動 ロ グ出力設定のフォルダパスを空欄にしておいてください。

第3章 クライアントの設定

※クライアントのソフトウェアは通常版(シングルライセンス)と同じです。通常版のマニ ュアルにしたがってインストールして下さい。

1. シリアル番号・Aコード(オーソライゼーションコード)入力

フローティングライセンス版のクライアントはライセンスサーバーと同じシリアル番号を使 用します。インストール直後に [スタートメニュー] > [すべてのプログラム] > [CADTOOL シリーズ] からそれぞれのパッケージを起動すると次のAコード入力ダイアログが表示され ます。(次の例はFEM6になります)

CADTOOL FEM6 Aコード入力			
┌CADTOOLを使用するIこは、Aコードの入力が必要です。			
シリアル番号			
Aコード			
ОК	終了		

通常版として既に登録してありAコード入力ダイアログが表示されないものをフローティン グライセンス版に変更する場合はクライアントのコマンド起動メニューの[バージョン情報 /アップデート設定]で[認証情報削除]ボタンをクリックして認証情報を削除してから再 起動すればAコード入力ダイアログが表示されるようになります。

なお認証情報を削除する場合は先にライブアップデートを実行しておき、プログラムを最新 の状態にしてから認証削除するようにしてください。

ここでCADTOOLマルチパッケージサーバーのユーザー登録用紙に記載されているシリアル 番号(マルチパッケージサーバーと共通)と各パッケージ用のAコード(パッケージ毎に異 なる)をそれぞれ入力して[OK]ボタンをクリックするとそれらが適正なものであればA コードが登録され、続いて各パッケージのサーバー情報入力ダイアログが表示されます。

なおパッケージの種類やバージョンによりシリアル番号を入力した時点でAコードが自動的 に入力された場合(Aコードは***で表示されグレーアウトされる)はそのまま[OK] ボタンをクリックしてください。

2. サーバー情報の入力

サーバー情報入力ダイアログではライセンスサーバーの管理画面に表示されるホスト名か、 またはIPアドレスのどちらかを入力します。

サーバー情報入力		
ネットワーク対応版はサーバー情報が必要です。		
ホスト名(またはIPアドレスでも可)		
ポート番号		
paann		
OK 終了		

ポート番号はデフォルト値が表示されますがライセンスサーバーの管理画面と同じポート番 号になっているか確認してください。

ライセンスサーバーでポート番号を変更してポート番号が違っている場合はこの画面で 直 接同じポート番号を入力して下さい。

サーバー情報が入力できたら[OK]ボタンをクリックするとコマンド起動メニューが表示され各クライアントが使用可能となります。

なおホスト名が変わったりポート番号を変更した場合はコマンド起動メニューの[バージョン情報/アップデート設定]で[認証情報削除]ボタンをクリックして認証情報を削除して シリアル番号の入力から設定しなおして下さい。

第4章 CADTOOLマルチパッケージモニターの導入

1. インストーラの起動

起動している他のアプリケーションがあれ ばすべて終了し、CADTOOL マルチパッケ ージCDをドライブに挿入します。マルチパ ッケージのインストール用メニューが自動 実行されます。CDが自動実行されない場合 には直接実行を行って下さい。

メニューより[マルチパッケージモニター] をクリックするとモニターのインストール が開始されます。

直接実行する場合は、

[スタートメニュー] → [ファイル名を指 定して実行]をクリックします。

[ファイル名を指定して実行]のウインド ウが表示されます。

[名前欄]に以下のように入力し、[OK]をクリックします。

E:multi_ist.exe (CD-ROMのドライブがEドライブの場合)

またインストーラを直接実行する場合には、 マイコンピュータよりCD-ROMの入ったド ライブを右クリックし、「開く」を選択し CD-ROMを直接開きます。開いたウィンドウ より「monitor」フォルダを開き、フォルダ 内のsetup.exeを実行します。

直接実行する場合は、以下を指定します。 E:monitor¥setup.exe (CD-ROMのドライブ がEドライブの場合)



Windows NT4.0 または、Windows 2000 、Windows XP、Windows Vista、Windows 7 で CADTOOLをインストールする時は、必ず Administrator 権限でインストールを行ってくだ さい。



2. マルチパッケージモニターの起動

セットアッププログラムが起動してからのインストール方法はサーバーや各クライアントと 同じ操作になりますのでそちらを参照してマルチパッケージモニターのプログラムを イン ストールしてください。

デフォルトの設定でインストールした場合は [スタートメニュー] > [すべてのプログラム] > [CADTOOLシリーズ] > [マルチパッケージモニター] をクリックして [CADTOOLマ ルチパッケージモニター] を起動します。

初回起動時はサーバーの起動情報取得方法が未設定なので次に示す起動情報取得設定ダイア ログが表示されます。なお[マルチパッケージモニター]にはシリアル番号・Aコードの入 力は必要ありません。

起動情報取得設定	
モニター情報取得方法を選択してください ネットワーク経由 ファイル参照方式	確定 終了
ネットワーク経由情報取得設定	
「モニターするパッケージのシリアルを入力──」「モニターするサーバー情報を入力───	
シリアル番号 ホスト名(また)はIPアドレスでも可) +0+0+0+0+0+0+0+	ポート番号 59900

上記の例はモニター情報取得方法をネットワーク経由とした場合でクライアントの設定と同様にパッケージのシリアル番号とサーバー情報を入力します。モニター情報取得方法をファ イル参照方式とした場合の設定ダイアログは次のようになります。

起動情難取得設定	
モニター情報取得方法を選択してください ネットワーク経由 ファイル参照方式	確定 終了
ファイル参照情報取得設定	
フォルダバス 「	参照

ここでファイル参照情報取得設定のフォルダパスに[第2章 4. 起動情報出力設定]の モニター情報出力設定で設定したフォルダバスを入力するか、[参照]ボタンを押してフォ ルダの参照ダイアログで選択します。 どちらの方式でも正常にモニター情報が取得できた場合は次に示すようにサーバーの管理情報が表示されます。

🔛 CADTOOL マルチパ	ッケージ 起動モニター		
FEM Ver6起動数: 1/	メカニカル 1 Ver7起動数:「1/1	フレーム構造解析 2D Ver8起動数: 1/3 Ver9起動数: 0/3	3D 動解析 0/2 0/1 1/2 0/1
バッケージ名称 FEM6 メカニカル7 フレーム8-平面 フレーム9-立体	コンピュータ名(ユーザー名) COMPUTERNAME (USERNAME) COMPUTERNAME (USERNAME) COMPUTERNAME (USERNAME) COMPUTERNAME (USERNAME)	開始時刻 185735 185832 185747 185801	<u>作業時間(min)</u> 1 0 1 0
		パージョン情報 アップディート設定	キャンセル

なおファイル参照方式でモニター情報出力先フォルダにアクセスできなくなった場合は次の メッセージが表示されます。

モニター情	青編取得
1	¥¥*****¥**¥****にアクセスできません。 設定されたパスが不正か、フォルダへのアクセス許可がない可能性があります。再度設定を確認してください。

ここで [OK] ボタンをクリックすると先に説明した起動情報取得設定のダイアログが表示 されますのでモニター情報出力先が変更されていれば再設定します。ネットワークが切れた りサーバーが落ちている場合はモニター情報取得設定ダイアログの [終了] ボタンをクリッ クしてモニタープログラムを終了します。 [バージョン情報/アップデート設定]ボタンをクリックすると次のダイアログが表示されます。

バーション情報/アゥファー	ŀ設定	
CADENAS WEB2C マルチサーハ [、] ーモニター ハ	AD CADTOOL [*] ージ [*] ョン 2.0.5	
手動アップデート 情報取得設定	サポート情報	戻る

[手動アップデート]および [サポート情報] ボタンの機能はサーバーや他のパッケージと 同じです。

[情報取得設定]ボタンをクリックすると先に説明した起動情報取得設定のダイアログが表示されますのでモニター情報の取得方法やそれぞれの設定内容を再設定することができます。

正常に起動しているモニタープログラムを終了する場合はモニター画面右上の[×]ボタン か[キャンセル]ボタンをクリックします。

3. 起動情報取得方法について

モニターのバージョン2.0.5よりサーバーの起動情報は [ネットワーク経由] と [ファ イル参照方式] が選択できるようになっています。

ネットワーク経由ではモニター用に共有フォルダを作る必要はなくサーバー側の設定も不要 ですので通常はこちらの方式で良いでしょう。

ファイル参照方式は旧バージョンとの互換性のために残していますが共有フォルダの作成が 必要となりサーバー側でもモニター情報の出力フォルダパスの設定が必要となります。

ただしネットワーク経由でのモニター情報の取得がうまくいかないような場合はファイル参照方式を試してみてください。

第5章 タスクスケジューラ登録方法 (Xp,2003Server)

ここでは[CADTOOLマルチパッケージサーバー]をインストールしたサーバーマシンを ロ グオンしないで使用するためにタスクスケジューラに登録する方法を説明します。

サーバーマシンを常にログオンして使用する場合は前述のようにプログラムグループでス タートアップを選択しておけばタスクスケジューラに登録する必要はありません。

なおWindows Xp、Windows2003SeverとWindows Vista、Windows7では設定方法が異なり、 ここではWindows Xp、Windows2003Sever での設定方法を説明していきます。

Windows Vista、Windows7での設定方法は次章を参照してください。

1. サーバーおよびクライアントの起動をチェック

[スタートメニュー] > [すべてのプログラム] > [CADTOOLシリーズ] (あるいはスタ ートアップ) > [マルチパッケージサーバー] を選択し、正常に起動できるか確認を行いま す。また各クライアントのインストールも行って、クライアントも正常に起動できるか確認 しておきます。

2. タスクを起動

[スタートメニュー] > [すべてのプログラム] > [アクセサリ] > [システムツール] > [タスク] を選択し [スケジュールされたタスクの追加] を開きます。タスクが見つからな い場合には、 [コントロールパネル] > [パフォーマンスとメンテナンス] からタスクを開 いてください。

[スケジュールされたタスクの追加]を開くと、タスクウィザードが開くので、[次へ]を クリックします。

3. タスクウィザードの操作

タスクウィザードのプログラム選択画面が開いたら実行するプログラムに Multi2_TaskManager.exeを選択します。

選択方法は [参照] ボタンをクリックして [CADTOOLマルチパッケージサーバー] をイン ストールしたフォルダ (デフォルトではC:¥Program Files¥CADTOOL_Series¥Multi2Server) より Multi2_TaskManager.exeを選択し、 [次へ] をクリックします。

タスク ウィザード			
実行するプログラムを1 つ選択してください(C) さらに別のプログラムを表示するには、「参照」をクリックしてください。			
1	アプリケーション	バージョン 🔼	
y y	😕 Acrobat Distiller 8		
	🝌 Adobe Acrobat 8 Professional		
	Br Adobe Bridge CS3	2.1.1	
	🔳 Adobe Device Central CS3	1.1.0	
	Dw Adobe Dreamweaver CS3	9.0.0.3495	
	Sector Se	20277 🔛	
		参照(<u>R</u>)	
		キャンセル	

続いてタスクの名前を入れる画面になりますがタスク名称はそのままでかまいませんので、 ここでは"このタスクの実行"で[コンピュータ起動時]を選択して、[次へ]をクリック します。

タスク ウィザード		×
2	このタスクの名前を入力してください(プログラムと同じ名前も使 用できます)① Multi2_Task Manager このタスクの実行: ○日単位① ○週単位 ⁽) ○月単位 ⁽) ○1回だけ実行 ⁽ ②) ○ <u>コンピュータ起動時(S)</u> ○ログオン時(L)	
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル	,

次にユーザー名とパスワードの設定を行います。ログイン時に使用しているユーザー名が入っていることを確認し、パスワードを入力したら[次へ]クリックし設定を完了します。

タスク ウィザード		
	ユーザー名とパスワードを入力」 たものとしてタスクが実行されま	してください。このユーザーが開始し す。
· 0	ユーザー名(<u>A</u>):	administrator
	パスワード(Ⴒ):	*****
	パスワードの確認入力(©):	*****
2	パスワードが入力されないと、ス 場合があります。	トゥジュール タスクが実行されない
	(戻る(<u>B</u>)	次へ(N) キャンセル

以上の設定が完了したら、再起動を行えば設定は完了です。

コンピュータが起動したら、ログオン前に各クライアントが正常に起動することを確認して ください。

またログの出力やモニター機能はサーバーがログオン前でも機能しますので必要に応じて起 動情報出力設定を行っておいてください。

第6章 タスクスケジューラ登録方法(Vista,Windows7)

ここではWindows Vista、Windows7で [CADTOOLマルチパッケージサーバー] をインスト ールしたサーバーマシンをログオンしないで使用するためにタスクスケジューラに登録する 方法を説明します。

1. 特権レベルの設定

Windows Vista、Windows7ではセキュリティが厳しくなりましたので先に特権レベルを 設 定する必要があります。 [CADTOOLマルチパッケージサーバー] をインストールしたらエ クスプローラでインストールフォルダを開きます。

デフォルトではC:¥Program Files¥CADTOOL_Series¥Multi2Serverになります。次にそのフォルダ にあるMulti2_Server.exeをマウス右クリックしてプロパティを開き[互換性]タブを開きます。

Multi2_Server.exeのプロパティ
全般 互換性 セキュリティ 詳細 以前のバージョン
プログラムが以前のバージョンの Windows では正常に動作していたのに、このバ ージョンでは問題が発生する場合、以前のバージョンに合った互換モードを選択 してくだざい。
<u>設定の選択に関するヘルプ</u> - 万換モード
□ 互換モードでこのプログラムを実行する: Windows XP (Service Pack 3)
🔲 256 色で実行する
🔲 640 x 480 の解像度で実行する
── 視覚テーマを無効にする
□ デスクトップ コンポジションを無効にする
□ 高 DPI 設定では画面のスケーリングを無効にする
特権レベル
▼管理者としてこのプログラムを実行する
🞯 すべてのユーザーの設定を変更
OK キャンセル 適用(<u>A</u>)

ここの特権レベルにある"管理者としてこのプログラムを実行する"をチェックして[OK] ボタンをクリックします。同様にして同じフォルダにあるMulti2_TaskManager.exeにも特権 レベルを設定します。

2. サーバーおよびクライアントの起動をチェック

Multi2_Server.exeとMulti2_TaskManager.exeの特権レベルが設定できたら[スタートメニュー] > [すべてのプログラム] > [CADTOOLシリーズ] (あるいはスタートアップ) > [マル チパッケージサーバー] を選択し、シリアル番号・Aコード入力、サーバーライセンス入力 を行い正常に起動できるか確認します。

なお特権レベルを設定する前にシリアル番号・Aコード、サーバーライセンスを入力してい ても特権レベルを設定すると再度入力が必要となります。また各クライアントのインストー ルも行って、クライアントも正常に起動できるか確認しておきます。

3. タスクを起動

[スタートメニュー] > [すべてのプログラム] > [アクセサリ] > [システムツール] > [タスクスケジューラ] を開きます。



タスクスケジューラが見つからない場合には、[コントロールパネル]>[システムとセキ ュリティ]>[管理ツール]>[タスクのスケジュール]を開いてください。

右の操作の中から [基本タスクの作成]を開くと、基本タスクの作成ウィザードが開きます。

4. 基本タスクの作成ウィザードの操作

基本タスクの作成ウィザードではまず名前を入力します。

ここでは実行プログラムと同じ名前としてMulti2_TaskManagerと入力します。名前を入力した ら [次へ] をクリックします。

基本タスクの作成ウィー	-ド 成	×
<u>快速ななんめの作成</u> りガー 操作 完了	このウィザードでは、共通タスクを素早くスケジュールしま 詳細すプションや設定は、U第作日 ベインの(タスクの作成 名前(A): 説明(D):	ま。複数のタスク操作やいガーなどの むコマンドを使ってください。
	4	[3(B) [次へ(N) > [キャンセル

続いてタスクトリガーの設定となりここでは「コンピューターの起動時」を選択して [次へ] をクリックします。

基本タスクの作成ウィザ	- κ		x
タスクトリガー			
基本タスクの作成 19 分- 操作 完了	 (ハンタスクを開始しますか? 毎日(D) 毎月(M) 1回限り(Q) コンピューターの起動時(H) ログオンキ(L) 特定イベントのログへの記録時(E) 		
		< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセ	214

次に操作の設定となり、ここでは「プログラムの開始」を選択して[次へ]をクリックします。

基本タスクの作成ウィザ	-ř
擅 操作	
基本タスクの作成トリガー	タスクでどの操作を実行しますか?
完了	● プログラムの開始(①)
	◎ 電子メールの送信(S)
	◎ メッセージの表示(M)
	< 戻る(B) 次へ(N)> キャンセル

次にプログラムの開始の設定になりますので[参照]ボタンをクリックして[CADTOOLマルチパッケージサーバー]をインストールしたフォルダ(デフォルトではC:¥Program Files¥CADTOOL_Series¥Multi2Server)よりMulti2_TaskManager.exeを選択し、[次へ]をクリッ クします。

基本タスクの作成ウィザード	10 100- C	×
🛅 プログラムの開始		
基本タスクの作成 トリガー	プログラム/スクリプド(<u>P</u>):	
プログラムの開始	"C:¥Program Files¥CADTOOL_Series¥Multi2Server¥Multi2_T	参照(<u>R</u>)
完了	引数の追加 (オプション)(<u>A</u>):	
	開始 (オブション)(工):	
	< 戻る(B) 次へ	(N) > [++>セル]

次にタスクの概要が表示されますが"[完了]をクリックしたときにこのタスクの[プロパ ティ]ダイアログを開く"をチェックしてから[完了]ボタンをクリックします。

基本タスクの作成ウィザー	۴	
概要		
基本タスクの作成		
りガー	名前:	Multi2_Task.Manager
プログラムの開始	脱明	
完了		
	kii ti 🖵	スタートアップ語・システム記録録
	操作	プログラムの間始: "C¥Program Files¥CADTOOL Series¥Multi2Server¥Mult
		プロシンスのかかから このカフカの「つロパティ」がノマロが主題/
	⑦ 元 1 [完了] 3	リモジリックしたときに、新しいタスクが作成され、Windows スケジュールに追加されま
	す。	
		< 戻る(<u>B</u>) 完了(<u>F</u>) キャンセル

プロパティを開かずに[完了]してしまった場合は再度タスクスケジューラを開き、左側の [タスクスケジューラライブラリ]を選択するとタスクスケジューラの中央にタスクの名前 が表示されますので、そこからMulti2_TaskManagerを選択して右側の操作にある[プロパティ] をクリックすると開きます。

プロパティが開いたら"ユーザーがログオンしているかどうかにかかわらす実行する"を選 択して"最上位の特権で実行する"をチェックします。

Multi2_TaskMa	anager のプロパティ (ローカル コンピューター)
全般 川ガー	操作 条件 設定 履歴
名前(<u>M</u>):	Multi2_TaskManager
場所:	¥
作成者:	******
またの <u>おし</u> た。 セキュリティオプシ	
ダスジ()夫1丁叶() *****¥¥****	こぼうユーリー アカワント: ユーザーまたはグループの変更(山)
 ユーザーがロ ユーザーがロ ユーザーがロ パスワードが 最上位の特別 	グオンしているときのみ実行する(B) グオンしているかどうかにかかわらず実行する(W) を保存しない (£)タスクがアクセスできるのはローカル コンピューター リソースのみ 権で実行する(1)
表示しない(E)	構成(⊆): Windows Vista™, Windows Server™ 2008 🔹 👻
	 OK 年ャンセル

ここで[OK]ボタンをクリックするとこのタスクを実行するユーザーアカウント情報の 入 力ダイアログが開きます。

ここでログイン時に使用しているユーザー名が入っていることを確認し、パスワードを入力 したら「OK」ボタンをクリックして設定を完了します。

タスク スケジューラ	8 ×
	G.C.
このタスクを実行するユーサ	ザー アカウント情報を入力してください。
ユーザー名(山):	🔮 ****¥**** 👻 💷
パスワード(<u>P</u>):	•••••
	OK キャンセル

以上の設定が完了したら、再起動を行えば設定は完了です。

コンピュータが起動したら、ログオン前に各クライアントが正常に起動することを確認して ください。

またログの出力やモニター機能はサーバーがログオン前でも機能しますので必要に応じて起 動情報出力設定を行っておいてください。

第7章 トラブルシューティング

※フローティングライセンス版で表示される注意メッセージの原因と対策を以下に記述しま す。

1. ライセンスサーバーが見つからない場合

各クライアント起動時にライセンスサーバーが見つからない場合は次のメッセージが表示されます。この例はフレーム構造解析8-3Dのメッセージになります。

CADTOOLフレーム8 3D ライセンス認証チェック		
ライセンスサーバー(ホスト名=*****、ポート番号=59900)が見つ CADTOOLフレーム8 3Dのアプリケーションが起動中の場合は通 OK	かりません。 !やかに終了して下さい。	

次に原因と対策を説明します。

・ライセンスサーバーが起動していない→ライセンスサーバーを起動する。

 ・ネットワークがつながっていない→ケーブルが外れている等、物理的な原因がないか確認 する。物理的な原因がない場合はセキュリティソフト等でポートが遮断されていないか確認 する。

・ライセンスサーバーのホスト名かポート番号が変更されている→クライアントの各コマンド起動メニューから[バージョンアップ/アップデート設定]ボタンをクリックして表示されたダイアログの左下にある[認証情報削除]ボタンをクリックしてサーバー情報を変更して下さい。次にフレーム構造解析8のダイアログを示します。

バージョン情報/アップデート設定	
CADENAS WEB2CAD CADTOOL	
フレーム構造解析 バージョン 8.0.17	
シリアル番号 *******	
ライセンス フローティングライセンス	
🗆 自動アップデートを有効にする 🛛 📘 日ごと	
手動アップデート	

ここで認証情報を削除すると次回起動時にはシリアル番号、Aコードの再入力も必要になり ます。ライセンスサーバーと同じシリアル番号と各クライアント用のAコードを入力して下 さい。

また認証情報を削除する場合は先にライブアップデートを実行しておき、プログラムを最新の状態にしてから認証削除するようにしてください。

なおこのメッセージはクライアントで作業中にライセンスサーバーを終了しても表示されま す。間違ってライセンスサーバーを終了した場合はライセンスサーバーを再起動させてから 上記メッセージの [OK] ボタンをクリックすれば作業を継続することができます。

2. 同時に起動できるライセンス数を越えた場合

クライアント起動時に同時に起動できるライセンス数を越えた場合は次のメッセージが表示 されます。この例はフレーム構造解析8-3Dのメッセージになります。

CADTOOLフレーム8 3D ライセンス認証チェック		
1	同時に起動できるライセンス数を越えていますのでアプリケーションを起動できません。	

この場合はメッセージにある通りで同時に起動できるライセンス数を越えて起動しようとしていますので起動はできません。

ライセンスサーバーの管理画面には各パッケージ(フレーム構造解析では各コマンド)を起 動しているコンピュータ名とユーザー名が表示されていますので、起動したまま使っていな いユーザーがいれば終了してもらってから起動してください。

またこのメッセージが頻繁に表示されるようであればライセンス追加のご検討をお願いいた します。

3. ライセンスサーバー終了時の確認

ライセンスサーバーの終了はタスクトレイのアイコンを右クリックして[プログラムの終了] をクリックすると右に示す終了確認メッセージが表示されます。



ここで [OK] をクリックしたときに起動中のクライアントがある場合はさらに右の終了確 認メッセージが表示されますので本当に終了しても良いか確認してから [OK] ボタンをク リックしてください。

終了確認	
⚠	起動中のクライアントがありますがサーバーを終了してもよろしいですか?
	OK キャンセル

クライアントが起動中の場合はさらに下の終了確認メッセージが表示され、ここで[OK] ボタンをクリックするとライセンスサーバーが終了します。



なおいずれのメッセージでも [キャンセル] ボタンをクリックすると終了処理をキャンセル しますが、クライアント起動中にライセンスサーバーを起動しているコンピュータをシャッ トダウンするとこれらのメッセージは表示されずにライセンスサーバーが終了しますので注 意してください。